

2024/11/18

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

## 先週のマーケット動向(11月11日～11月15日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg     |
|---------|----------|----------|----------|----------|---------|
| USD/KRW | 1,395.1  | 1,410.8  | 1,392.6  | 1,398.8  | +12.4   |
| JPY/KRW | 9.1219   | 9.1417   | 8.9354   | 8.9500   | ▲0.119  |
| KOSPI   | 2,562.05 | 2,562.05 | 2,390.56 | 2,416.86 | ▲144.29 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初のドル/ウォンは1,395.1ウォンでオープン。前週末に発表された中国の地方政府の景気刺激策が十分ではなかったことへの失望感からアジア通貨は軟調推移。米休日ということもあり、日中は方向感乏しい推移となった。12日はトランプ・トレードが活発化。中国製品への関税強化策から中国を主な取引相手とするアジア諸国通貨が軟調推移。ドル/ウォンも1,400ウォンの節目を上抜けて推移した。13日には一時1,410ウォン台に上昇。同日夜間に発表された米10月CPIは予想に一致。また、米下院選挙で共和党が過半数を獲得する見通しが伝わるとドル買いが継続。14日もドル/ウォンは底堅い推移が継続した。しかし、同日チェ副首相から「金融市場のボラティリティが過度に拡大した場合には、積極的な市場安定化措置を適時迅速に実施する」と口先介入が行われ、翌15日に当局の介入を懸念しドル/ウォンは上げ幅を縮小。結局、前週末比+12.4ウォンの1,398.8ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

## 今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値重い推移を予想。米大統領選挙結果を受けて米金利の上昇や株高に鈍化の兆しが見えることや、先週1,410ウォンの高値を確認した後、当局の介入懸念もありウォン安が一服したことを勘案すると、ドル/ウォンの上値は限定的な推移か。一方、今週は特段経済指標など材料も乏しく、ウォン買い意欲も限定的か。1,390ウォン～1,400ウォンをコアレンジとし、やや上値重い推移を想定。

| USD/KRW     | JPY/KRW     | USD/JPY       |
|-------------|-------------|---------------|
| 1380 ～ 1410 | 8.90 ～ 9.20 | 152.0 ～ 156.0 |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 18日(月) 日 9月 機械受注 速報値
- 19日(火) 米 10月 住宅着工件数 確定値
- 欧 10月 CPI 確報値
- 20日(水) 日 10月 貿易統計 確定値
- 21日(木) 米 11月 失業保険新規申請者数
- 米 10月 中古住宅販売件数 確定値
- 22日(金) 米 11月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 米 11月 製造業PMI 速報値
- 欧 11月 製造業PMI 速報値
- 欧 11月 サービス業PMI 速報値
- 米 11月 サービス業PMI 速報値
- 欧 11月 消費者信頼感指数 速報値
- 日 10月 CPI 確定値